

## 6.情報発信（広報・広告、メルマガ、講師派遣など）

図書館は、地域の情報センターとしての役割を担い、市民サービスの向上及び地域の活性化を図るため、ICT（Information and Communication Technology）ツールを活用した情報配信広報・広告事業を進めている。

24年度は、子ども読書活動や読書会など図書館に関わって活動する各種グループの紹介や医療健康情報として闘病記関連情報をWebサイト上で新たに公開した。また、従来から提供してきた調べ方ガイド「検索ナビ」やレファレンス事例、豊中関連の新聞記事見出し検索に新たな事例を追加し、内容の充実をはかった。

メールマガジンは、登録者総数1,447件、配信数57回。図書館の新作図書・イベント情報だけでなく、図書館の発行物である「YA!BOOKS通信」の配信も開始した。庁内各課の協力を得て「花と緑の相談所ニュース」などの情報の継続的な配信も行っている。

紙媒体では、ブックリスト「えほんはじめまして」、「こんにちはえほん」、「とよなかこども読書マップ」、「子ども読書活動推進計画第2期実施計画 概要版」、3年生向け図書館案内「ようこそ図書館へ」、1年生向け利用案内「としょかんへいこう!!」、「YA!BOOKS通信」、調べ方ガイド「検索ナビ」などを発行した。

新たな利用の開拓に繋がるよう、Webサイトやメールマガジンを含む多様な媒体により情報発信することで利用者を通じて人から人へ図書館の役割や機能が伝わるよう努める。

広報・広告事業では、Webサイトのバナー広告は、3社（短期契約を含む）。利用者用館内パソコン等に使用するレシート用紙広告は、民間事業者及び庁内の各課から依頼があり、ロール紙の提供を受けた。Webサイトの蔵書検索画面にリンクを設けたオンライン書店のアフィリエイトポイントを利用し、書籍を3冊購入。市内を常時巡回し市民の目に触れる機会も多い動く図書館のラッピング広告は、現在新たな事業者を募集している。

### ◆職員による出前講座、講師派遣等

#### ●子育てに絵本の楽しさを

「絵本出前講座」「出前おはなし会」「千里おやこふれあい広場」

「高校生への絵本出前講座」「赤ちゃんと一緒に…絵本のある暮らし」

地域の子育てサークルやグループ、子育て支援センター、妊婦教室、また高校の家庭科授業内での子どもとともに楽しむ絵本の紹介や読み聞かせ。

市内58ヵ所 参加者2,283人

#### ●大人へ届ける本の世界

「大人のための絵本カフェ」「コラボ大蔵庫」

市民主催、団体主催の講座でテーマにそった本を紹介

参加者598人

#### ●暮らしに役立つ図書館

「健康カレッジ」「産業フェア」

地域保健課や地域経済課など市内他部局等主催の事業への参加と図書館PR・利用登録・資料の貸出

健康カレッジへの参加者545人

●小学生へ図書館活用指導、読み聞かせ

「図書館の活用講座・インターネット検索演習（小学生対象）」

「自由研究おたすけDAY」「人権まちづくりセンターへの出前おはなし会」

子どもたちに図書館に親んでもらうとともに、調べ学習に役立つ情報の提供を行う。

市内5カ所 参加者374人

●子どもを取りまく大人への支援

「子どもと本をつなぐボランティア講座」

「学校における読み聞かせボランティアバックアップ講座」

子どもと本をつなぐボランティアの育成・支援、学校でのボランティアへの読み聞かせ講座。

市内4カ所 参加者640人

●「新任高校教諭の職業体験」「校内研修」など

教諭や学校図書館司書への図書館の活用や「とよなかブックプラネット事業」の研修

市内12カ所 参加者219人

●障害者サービス担当職員研修講座への協力（実習受入）

参加者3人

●豊中から全国各地へ

他市、他県の図書館や図書館関連団体で開催された講演会や講座への講師派遣

- ・「資料デジタル化研修」（2回）北摂アーカイブスについて 於；国立国会図書館
- ・「全国図書館大会」（2回）北摂アーカイブスについて 於；島根県
- ・「兵庫子どもの読書活動推進事業」学校連携の先進的な事例紹介 於；兵庫県立図書館
- ・「大阪府立図書館講座」図書館の広告事業について 於；府立中之島図書館

●全国各地から豊中の図書館へ

視察（とよなかブックプラネット事業、公共図書館運営）

岬町、宝塚市、沖縄県、宮崎市、吹田市、新潟市、鳥取市、平群町、香芝市、大阪芸術大学からの視察

全国10カ所 参加者58人

◆新聞・雑誌・ミニコミ紙・Web等

●『産経新聞』 H24.5.10 懐かしの手塚作品に会える 豊中の千里図書館で「巡回展示」

●『読売新聞』 H24.5.20 図書館広域利用 豊能地区で20館、どこでも自由に来月から

●『毎日新聞』 H24.10.31 第11回「読み聞かせ」シンポジウム

童話や絵本の読み聞かせの魅力を語り合う。中学校長、小学校教諭、学校図書館司書、図書館職員がパネリストとして参加。

●『マチゴト豊中・池田 Vol.46』 H24.12.23

岡町図書館おはなし会、すくすくあかちゃんタイムの紹介

●『とよなかカラフル』千里コラボ・千里図書館の紹介

●『学校図書館を考える会・近畿 No.19』 H24.12 写真展示「学校図書館大集合」

●『ぱっちわーく No.236』 H25.1 写真展示「学校図書館大集合」

●『るるぶ豊中市』（JTBパブリッシング） H25.1

図書館案内、ブックスタートえほんはじめまして、おはなし会等

- 『ブックスタートニュースレター No.40』（NPOブックスタート）H25.3  
地域の事例から「視覚に障がいのある方への対応」
- 『ブックスタート広報アイデア集』（NPOブックスタート）H25.3  
図書館ウェブサイトの中に「赤ちゃんのページ」  
イベントの開催など、PRの機会をつくる「写真展の開催」
- 『図書館界 64 巻 6 号（通巻 369 号）』 H25.3  
「とよなかブックプラネット事業」がめざす「ふだん使いの学校図書館」

## ケーブルテレビ・ラジオ

- FM千里ラジオ生中継（千里文化センターコラボ）H25.2.23  
ブックスタート巡回写真展
- CATVかたらいプラザ 子ども読書活動フォーラム、子育て座談会、しょうないREK  
「ええやん！演芸会」

## 7.図書館協議会

平成 24 年度は 4 回（6・9・11・2 月）開催され、図書館評価システムにおけるアンケート（郵送による市民アンケート・来館者アンケート）、「豊中市立図書館の中長期計画 グランドデザイン」（案）、23 年度版「豊中市の図書館活動」（案）、諮問：指定管理者制度のあり方（部分委託を含む）等について、討議が行われた。

また臨時部会として、図書館協議会図書館評価部会が開催（1・2・3 月、25 年度 4 月）され、21 年度から 23 年度の 3 年間の図書館活動を振り返り、外部評価を実施した。

平成 24 年度の委員一覧

名 前	団体名・役職等
舟 岡 直 子	小学校長代表
大 野 俊 介	中学校長代表
寺 本 幸 子	幼稚園長代表
島 野 昌 子	婦人団体連絡協議会
松 田 美和子	豊中子ども文庫連絡会
鵜 川 ま き	豊中図書館の未来を考える会
◎中 川 幾 郎	学識経験者
○塩 見 昇	学識経験者
村 上 泰 子	学識経験者
曾 谷 昌	市民公募

◎委員長 ○委員長職務代行者

## 8. 図書館評価

図書館運営を振り返り、効果的・効率的な運営と、より一層の図書館サービスの向上および地域との情報共有を図る仕組みとして、平成 20 年度から「豊中市立図書館評価システム」を導入し、図書館運営に関する自己点検と外部評価を実施している。

24 年度は自己点検・評価として、「豊中市立図書館評価システム」評価表「リーディング項目」について単年度の振り返りを行うとともに、21 年度から 23 年度の 3 年間の目標値に対する総括

を行った。また、「来館者アンケート」と郵送による「市民アンケート」も実施し、自己点検報告書と合わせて、外部評価を実施した。

※詳細については別途報告書「豊中市立図書館評価システム評価表リーディング項目」「豊中市立図書館評価システム自己点検報告書」「豊中市立図書館の運営状況に関する評価報告書（H25.5）」を参照

## 9. とよなかブックプラネット事業

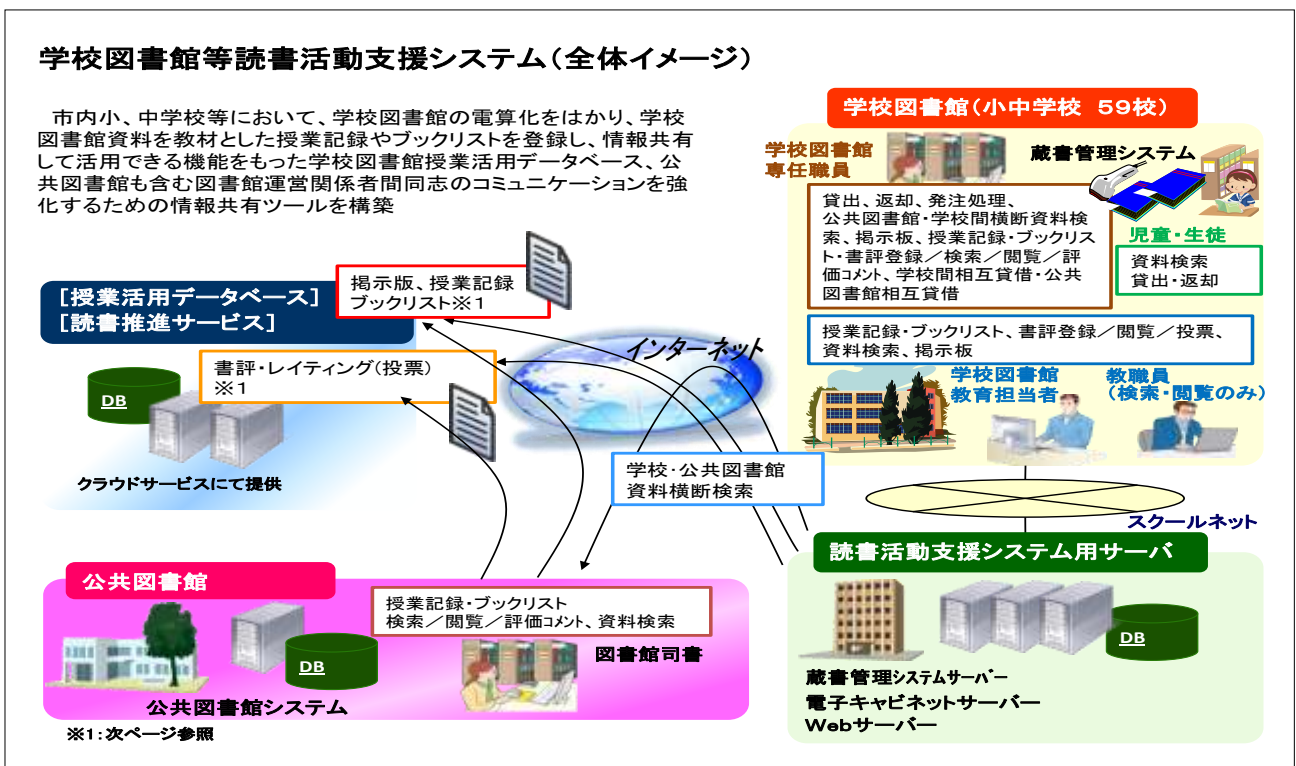
平成 22 年度の「概念設計」、23 年度の「詳細設計」を経て、24 年度は学校図書館と公共図書館の蔵書を一体的かつ効果的に活用する環境整備を進めた。具体的には、「詳細設計」にもとづいた読書活動支援システムの開発・構築に取組み、全小・中学校における 25 年 4 月からのシステム稼働の準備・体制づくりを行った。

事業の進捗に合わせて、「学校図書館支援ライブラリー」（庄内幸町図書館 2 階）を拠点としながら、公共図書館でセット組みをした各種資料「調べ学習パック」や「教員支援用資料」の学校図書館への貸出しを開始した。また、学校図書館と公共図書館間ならびに、学校図書館間の資料連携の基盤となる資料運搬システムの充実にも取組み、1 校当たり週 1 便であった「物流便」を週 2 便に増便し、その体制整備に努めた。

その過程においては、生涯学習推進部と教育推進部の協働により 23 年度から設置の「とよなかブックプラネット事業推進委員会」において、事業の円滑な推進と体制づくりに向けた検討を重ね、その具現化を進めた。

さらには、学校図書館専任職員連絡会や地域館交流会等を通じて、学校図書館と公共図書館の連携強化に引き続き取組むとともに、読書振興課、小中学校チーム、教育センターの連携によって、学校図書館教育担当者や学校図書館専任職員を対象とする研修の充実に努めた。

※本事業において開発・構築を進めたシステムの概要（全体イメージ）



※本事業において開発・構築を進めたシステムの概要（授業活用）

## 学校図書館等読書活動支援システム(授業活用)

蔵書管理システムにて学校図書館資料を管理するとともに、学校図書館の活用事例を授業活用データベースとして蓄積資料と事例の活用を促し、児童・生徒の読書活動を促進し、教員の学習指導を支援

全国図書館司書・利用者による  
書評・レーティング(投票)が参照可能

蔵書管理システム  
(WebOPAC)

授業活用データベース(ブックリスト)

調べ学習のためのブックリスト

授業活用データベース  
(授業記録)

学校図書館を活用した  
授業の記録

「とよなかブックプラネット事業」により、「人」「物流」「情報」の3つの側面からの学校図書館の機能向上が進み、多様な読書活動の一層の普及・定着を図る環境整備の具現化がなされる。今後は、学校図書館支援のネットワークの総合的な有効活用と充実した環境を活かした取組みの一層の強化が求められる。